

# 平成元年毎月勤労統計調査地方調査結果

## 1 概 況

平成元年の我が国経済は、外需が一進一退で推移したものの個人消費が堅調に推移し、製造業・非製造業とも設備投資が増勢を続けるなど、内需は引き続き増加し拡大局面となった。鉱工業生産は順調に増加し、雇用情勢も雇用者数が堅調に増加するなど引続き改善した。しかし、労働力需給は、引き締め基調が続き、企業の人手不足感が広がった。

国際収支についてみると、経常収支の水準は高かったものの、輸入が製品類を中心に増加したことや外国為替市場における円安傾向等から黒字幅は前年に引き続き減少となった。

また、物価は、消費税導入の影響等により上昇はしたが、基調としては引き続き安定した状態で推移し、民間最終消費支出の伸び率も高まった。住宅投資は、新設住宅着工数が前年を少し下回ったものの166万戸と依然高い水準を維持した。

以上、我が国経済は、国内需要が堅調に推移し、企業収益は更に増加を続け、雇用者数も堅調に増加するなど拡大局面の一年であった。

このような経済情勢の中で、全国の調査産業計の平均現金給与総額は、357,079円で前年に比べ4.7%増(63年3.8%増)となり、前年の増加率を0.9ポイント上回った。

平均実質賃金は、2.4%増(63年3.3%増)と前年の増加率を下回った。

また、月間平均実労働時間は、174.0時間で前年に比べ1.1%減(63年0.3%増)と3年振りに対前年比減となった。

出勤日数は、21.4日で前年と比べ0.4日少なくなった。

次に、雇用の動きを常用雇用指数(昭和60年=100)でみると、106.2で前年に比べて2.6%増(63年1.5%増)となった。

以上のような全国状況のなかで、三重県の賃金、労働時間及び雇用の動きをみると、常用労働者1人平均月間給与総額は336,455円で前年に比べて6.3%増(63年2.1%増)となり、平均実質賃金は前年に比べて3.3%増(63年1.5%増)となった。

また、月間平均総実労働時間は、178.4時間で前年に比べて1.7%減(63年0.8%増)となった。

月平均出勤日数は、21.4日で前年より0.5日減となった。

次に、雇用の動きを常用雇用指数によってみると、102.7で前年に比べて2.1%増(63年は0.6%増)となった。

## 2 賃金の動き

◆ 賃金上昇率 名目6.3%増 実質3.3%増

調査産業計の平均月間給与総額は、336,455円で前年に比べて6.3%増(63年2.1%増)となり前年を4.2ポイント上回った。

この給与の内訳をみると、定期給与は253,232円で、前年に比べて4.2%増(63年4.2%増)となり、特別給与は83,223円で、前年に比べて13.4%増(63年4.6%減)となった。(第1表、第2表)

また、現金給与総額の実質賃金は、前年に比べて3.3%増(63年1.5%増)となった。(第7表)

現金給与総額の伸び率を産業別にみると、運輸・通信業が12.2%増と最も大きな伸びを示し、次いで建設業6.6%増、サービス業6.1%増、製造業5.9%増、金融・保険業5.2%増、電気・ガス・熱供給・水道業4.3%増、卸売・小売業、飲食店3.6%増の順に対前年増となった。(第2表)

第1表 賃金の動き

単位(金額:円, 増減率:%)

	三 重 県				全 国			
	現金給与総額		定期給与		現金給与総額		定期給与	
	金額	対前年増減率	金額	対前年増減率	金額	対前年増減率	金額	対前年増減率
昭和60年	297,520	5.3	224,628	4.6	317,091	2.8	236,587	3.2
61	308,030	2.9	233,581	3.3	327,041	2.7	244,216	2.9
62	320,284	3.7	240,979	2.8	335,944	1.9	251,298	2.0
63	316,389	2.1	243,016	4.2	341,160	3.8	254,865	3.8
平成元年	336,455	6.3	253,232	4.2	357,079	4.7	264,427	3.7

注) 対前年増減率は指数から算出した。

第2表 産業別賃金の動き

単位(金額:円, 増減率:%)

		三重県						全国					
		現金給与総額		定期給与		特別給与		現金給与総額		定期給与		特別給与	
		金額	対前年増減率	金額	対前年増減率	金額	対前年増減率	金額	対前年増減率	金額	対前年増減率	金額	対前年増減率
調査産業計	昭和63年	316,389	2.1	243,016	4.2	73,373	-4.6	341,160	3.8	254,865	3.8	86,295	4.1
	平成元年	336,455	6.3	253,232	4.2	83,223	13.4	357,079	4.7	264,427	3.7	92,652	7.5
調査産業計 (サービス業を除く)	昭和63年	307,967	2.6	237,795	4.5	70,172	-3.6	334,937	4.3	250,962	4.1	83,975	4.7
	平成元年	327,434	6.2	248,023	4.3	79,411	13.2	352,051	5.1	261,451	4.2	90,600	8.0
建設業	昭和63年	337,343	5.3	263,740	0.0	73,603	29.8	348,360	5.3	271,163	3.6	77,197	12.4
	平成元年	359,485	6.6	279,512	6.0	79,973	8.7	373,211	7.2	285,830	5.4	87,381	13.3
製造業	昭和63年	297,743	4.2	227,636	4.5	70,107	3.5	318,663	4.5	240,870	4.2	77,793	5.3
	平成元年	315,131	5.9	237,907	4.5	77,224	10.2	336,648	5.8	251,287	4.3	85,361	9.8
電気・ガス・熱供給・水道業	昭和63年	419,077	1.1	313,174	1.5	105,903	0.5	472,104	3.6	340,423	2.8	131,681	5.8
	平成元年	436,921	4.3	316,815	1.2	120,106	13.4	492,967	4.5	353,471	3.8	139,496	6.2
運輸・通信業	昭和63年	386,426	-0.5	312,638	7.2	73,788	-41.4	377,449	5.2	287,229	6.0	90,220	2.8
	平成元年	433,394	12.2	333,549	6.7	99,845	35.3	395,349	4.8	301,377	4.9	93,972	4.2
卸売・小売業 飲食店	昭和63年	226,183	3.7	177,077	4.3	49,106	1.5	284,442	3.1	214,117	3.7	70,325	1.5
	平成元年	234,377	3.6	183,069	3.4	51,308	4.5	297,799	4.7	222,056	3.6	75,743	7.8
金融・保険業	昭和63年	369,088	-10.2	275,102	3.4	93,986	-35.0	475,457	3.6	318,138	3.1	157,319	4.8
	平成元年	388,381	5.2	272,073	-1.0	116,308	23.8	486,338	2.4	324,491	2.0	161,847	3.3
サービス業	昭和63年	357,883	1.0	268,711	3.0	89,172	-3.9	360,581	2.4	267,044	2.4	93,537	2.3
	平成元年	379,840	6.1	278,429	3.6	101,411	13.7	372,564	3.4	273,591	2.4	98,973	6.0

注) 対前年増減率は指数から算出した。特別給与(三重県分)は指数を作成していないため、実数から算出した。

◆ 産業間の賃金格差いぜん続く

産業別賃金格差を男女別に現金給与総額で比較すると、男子では昨年同様金融・保険業が最も高く、続いて電気・ガス・熱供給・水道業、サービス業、運輸・通信業の順で平均を上回り、以下製造業、建設業、卸売・小売業、飲食店の順で平均を下回った。これを最高と最低でみると、金融・保険業の611,743円に対して卸売・小売業、飲食店は331,699円で280,044円の差があり、産業間の格差はいぜん大きい。

一方、女子では金融・保険業、サービス業、運輸・通信業、電気・ガス・熱供給・水道業が平均を上回り、建設業、製造業、卸売・小売業、飲食店は平均を下回った。これを最高と最低でみると、金融・保険業の320,408円に対し卸売・小売業、飲食店146,390円で174,018円の差があり、産業間の格差は大きい。

また、調査産業計において、元年の男女子間の賃金格差を女子に対する男子の倍率で比較すると、1.967倍で63年(1.986倍)より0.019ポイント縮小した。(第3表)

第3表 男女別にみた産業別現金給与総額

単位:円

		三重県		全国	
		男	女	男	女
調査産業計	男	409,703	208,270	429,911	216,426
	女	401,521	179,665	423,783	191,432
調査産業計 (サービス業を除く)	男	378,492	198,192	404,326	189,874
	女	394,307	162,911	414,981	173,097
建設業	男	474,576	242,187	518,683	287,984
	女	449,243	296,699	409,985	272,224
製造業	男	331,699	146,390	397,873	165,466
	女	611,743	320,408	655,643	312,137
電気・ガス・熱供給・水道業	男	463,040	298,999	453,248	270,303
	女	449,243	296,699	409,985	272,224
運輸・通信業	男	331,699	146,390	397,873	165,466
	女	611,743	320,408	655,643	312,137
卸売・小売業 飲食店	男	463,040	298,999	453,248	270,303
	女	449,243	296,699	409,985	272,224
金融・保険業	男	611,743	320,408	655,643	312,137
	女	320,408	146,390	312,137	146,390
サービス業	男	463,040	298,999	453,248	270,303
	女	449,243	296,699	409,985	272,224

3 労働時間・出勤日数の動き

◆ 所定内労働時間・所定外労働時間は共に減少

調査産業計の月間平均総実労働時間は、178.4時間で前年に比べて1.7%減(63年0.8%増)となった。

総実労働時間を所定内労働時間と所定外労働時間に分けると、所定内労働時間は、160.6時間で前年に比べて1.7%減(63年0.4%減)であった。

所定外労働時間は、17.8時間で前年に比べて1.6%減(63年15.9%増)となった。(第4表)

◆ 出勤日数わずかに減少

調査産業計の月間平均出勤日数は、21.4日で前年より0.5日の減少となった。(第5表)

第4表 産業別労働時間の動き

単位(増減率:%)

		三重県						全国					
		総実労働時間		所定内労働時間		所定外労働時間		総実労働時間		所定内労働時間		所定外労働時間	
		時間	対前年増減率	時間	対前年増減率	時間	対前年増減率	時間	対前年増減率	時間	対前年増減率	時間	対前年増減率
調査産業計	昭和63年	181.4	0.8	163.3	-0.4	18.1	15.9	175.9	0.3	160.2	-0.3	15.7	8.1
	平成元年	178.4	-1.7	160.6	-1.7	17.8	-1.6	174.0	-1.1	158.2	-1.3	15.8	1.0
調査産業計 (サービス業を除く)	昭和63年	182.4	1.7	162.2	0.0	20.2	17.3	178.1	0.6	161.0	-0.2	17.1	9.5
	平成元年	179.1	-1.8	159.4	-1.7	19.7	-2.1	176.0	-1.2	158.7	-1.5	17.3	1.3
建設業	昭和63年	197.2	5.8	176.0	5.5	21.2	8.7	190.1	0.9	174.3	0.2	15.8	8.9
	平成元年	196.8	-0.2	175.3	-0.4	21.5	1.5	187.3	-1.5	171.5	-1.6	15.8	-0.2
製造業	昭和63年	181.2	1.8	160.0	-0.3	21.2	22.6	181.1	1.2	161.4	-0.1	19.7	14.0
	平成元年	178.5	-1.5	157.6	-1.5	20.9	-1.5	179.3	-1.0	159.3	-1.3	20.0	1.3
電気・ガス 熱・水道 供給業	昭和63年	167.4	2.2	151.2	0.4	16.2	20.9	170.5	-1.0	153.6	-0.5	16.9	-4.5
	平成元年	167.7	0.2	151.8	0.5	15.9	-2.0	167.9	-1.5	151.4	-1.4	16.5	-2.0
運輸・通信業	昭和63年	206.7	1.8	177.2	1.0	29.5	6.3	189.9	0.3	166.4	-0.1	23.5	3.1
	平成元年	202.6	-2.0	174.6	-1.5	28.0	-5.1	188.6	-0.7	164.3	-1.3	24.3	3.3
卸売・小売業 飲食店	昭和63年	168.9	-1.9	161.1	-1.4	7.8	-10.5	164.4	-0.7	155.1	-1.1	9.3	6.9
	平成元年	164.3	-2.8	156.9	-2.5	7.4	-5.2	162.9	-0.9	153.1	-1.3	9.8	5.4
金融・保険業	昭和63年	148.3	-5.6	143.0	-6.6	5.3	-3.7	161.2	0.0	150.1	0.1	11.1	-1.7
	平成元年	140.7	-5.2	134.9	-5.6	5.8	8.7	155.2	-3.8	145.4	-3.1	9.8	-12.2
サービス業	昭和63年	176.5	-1.3	168.6	-1.5	7.9	0.7	169.0	-0.2	157.8	-0.5	11.2	3.1
	平成元年	174.5	-1.1	166.2	-1.5	8.3	5.7	167.7	-0.8	156.5	-0.8	11.2	0.2

注) 対前年増減率は指数から算出した。

第5表 産業別出勤日数の動き

単位:日

		三重県						全国					
		総数		男子		女子		総数		男子		女子	
		日数	対前年との差	日数	対前年との差	日数	対前年との差	日数	対前年との差	日数	対前年との差	日数	対前年との差
調査産業計	昭和63年	21.9	0.1	22.0	0.0	21.6	0.1	21.8	0.0	21.8	-0.1	21.6	0.0
	平成元年	21.4	-0.5	21.6	-0.4	21.0	-0.6	21.4	-0.4	21.5	-0.3	21.2	-0.4
調査産業計 (サービス業を除く)	昭和63年	21.7	-0.1	21.9	-0.2	21.3	0.0	21.7	0.0	21.8	0.0	21.5	0.1
	平成元年	21.2	-0.5	21.4	-0.5	20.8	-0.5	21.3	-0.4	21.5	-0.3	21.0	-0.5
建設業	昭和63年	22.6	-0.2	22.7	-0.2	22.3	-0.1	22.8	-0.2	23.0	-0.1	22.1	-0.1
	平成元年	22.3	-0.3	22.3	-0.4	21.8	-0.5	22.5	-0.3	22.6	-0.4	21.9	-0.2
製造業	昭和63年	21.1	-0.2	21.3	-0.4	20.7	0.1	21.2	0.0	21.3	0.1	21.2	0.0
	平成元年	20.7	-0.4	20.9	-0.4	20.4	-0.3	21.0	-0.2	21.0	-0.3	20.9	-0.3
電気・ガス 熱・水道 供給業	昭和63年	19.4	-1.2	19.4	-1.2	19.2	-1.1	20.5	0.0	20.5	-0.1	20.2	0.1
	平成元年	19.8	0.4	19.9	0.5	19.2	0.0	20.0	-0.5	20.0	-0.5	19.8	-0.4
運輸・通信業	昭和63年	23.0	0.2	23.3	0.3	20.6	-1.0	22.1	0.1	22.3	0.1	21.0	0.4
	平成元年	22.6	-0.4	22.9	-0.4	20.3	-0.3	21.9	-0.2	22.0	-0.3	21.0	0.0
卸売・小売業 飲食店	昭和63年	24.0	0.4	23.5	0.2	24.4	0.5	22.2	-0.3	22.4	-0.3	22.0	-0.2
	平成元年	23.2	-0.8	22.9	-0.6	23.5	-0.9	21.9	-0.3	22.1	-0.3	21.6	-0.4
金融・保険業	昭和63年	21.2	-0.7	21.8	-0.3	21.0	-0.6	21.6	0.1	21.8	-0.1	21.3	0.2
	平成元年	19.7	-1.5	20.6	-1.2	19.4	-1.6	20.1	-1.5	20.4	-1.4	19.8	-1.5
サービス業	昭和63年	22.8	0.9	23.0	1.2	22.7	0.6	21.9	-0.2	21.8	-0.3	21.9	-0.2
	平成元年	22.4	-0.4	22.8	-0.2	22.0	-0.7	21.5	-0.4	21.5	-0.3	21.6	-0.3